

科学博物館「海」展のお話

梅雨^{つゆ}が明けたと思ったら連日^{もうじょう}の猛暑^{たてももの}ですね。建物の中^{たてももの}にいても、エアコンをつけていないと熱中症になってしまいそうです。夜もなかなか寝^ね付けず、寝不足になる人もいるかもしれませんが、夏期講習^{かきこうしゅう}をがんばっていきましょう。

7/23（日）に、有志^{ゆうし}と国立科学博物館^{かがくはくぶつかん}の「海」展に行ってきました。今回は9名の生徒さんが参加してくれました。夏休み最初の日曜日ということで、とてもこんでいるかと思いましたが、予約制のおかげか特別展^{かいてき}は快適に見学することができました。（カフェテリアは混雑^{こんざつ}していましたが）

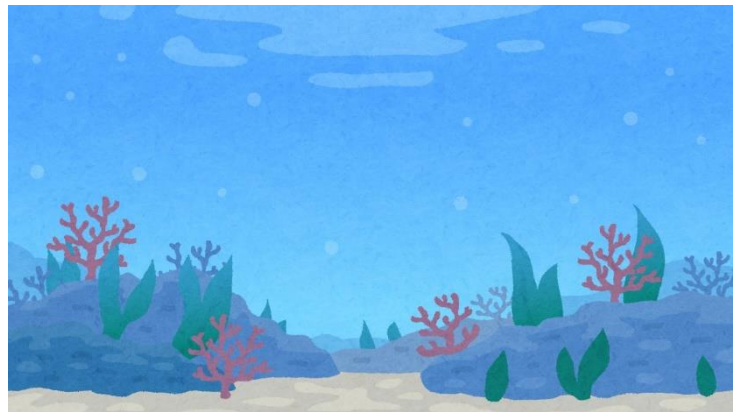
今回は「海」というとても大きく広いものについての特別展のため、海の生物、海洋資源^{しげん}、海の汚染^{おせん}など、様々な分野についての展示を見ることができました。その分、1つ1つの分野の掘り下げはそれほど深くない、という

印象^{いんしょう}ですが、「特に興味^{きょうみ}をもっている分野がある」というのでなければ、入門編としてすばらしい展示だと思います。一緒に回った生徒さんの中にも、

生き物^{きょうぶ}に興味をもっている人もいれば、ゴミ問題に強く反応している人もいる、という感じでした。



中学入試に目を向けると、^{かんきょうもんだい}環境問題や^{ぜつめつきぐしゅ}絶滅危惧種についての時事問題は定番になりつつありますし、エネルギーや^{しげん}資源に関する問題では、魚や貝類などの^{すい}水産資源の持続的な利用だけでなく、マンガンなどレアアースを含む^{かいていしげん}海底資源について考えさせるような問題も増えてきています。もちろん、海の中の^{せいたいけい}生態系や物質の^{じゅんかん}循環に関する出題も見逃がせません。



このつぶやきでも何度か書いていますが、今後の中学入試では、ニュースも含め、様々な情報を取り込めるように「アンテナをはっておく」ということがますます重要になってくると思います。「海」展はそういうことを考えるきっかけにもなるかと思っていますので、ちょっとでも「行ってみようかな」と思っている人は、ぜひ夏休み中に行ってみることをおすすめしますよ。

23/7/28 (宇宙も深海も行ってみたい) あん Do

参考：

<https://umiten2023.jp/>

「海」展の公式ホームページ